

JAETP

特定非営利活動法人
日本臨床運動療法学会

News Letter

Japanese Association of Exercise Therapy and Prevention

せまる開催！ともに語ろう、臨床運動の最前線

第44回
日本臨床運動療法学会学術集会

全世代における健康増進を目指した運動療法の役割



会長 田村 好史

順天堂大学大学院 スポーツ医学・スポーツロジー／代謝内分泌内科学
順天堂大学国際教養学部 グローバルヘルスサービス領域
教授

会場 順天堂大学 第3教育棟

[今すぐ参加登録](#)

9.13

SATURDAY

14

SUNDAY

参加費

参加区分		事前参加登録 -9月4日（木）	当日参加登録 9月13日（土）-9月14日（日）
会員	医師	10,000円	11,000円
	コメディカル	5,000円	6,000円
非会員	医師	12,000円	13,000円
	コメディカル	6,000円	7,000円
学生 (社会人の院生を除く)		無料	無料

※現在非会員の方が本学会にご参加と同時にご入会された場合、2026年3月末までの年会費が免除となります

会場へのアクセス

	約9分
	JR 水道橋駅 (東口)
	約9分
	東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅(出口1,2)
	約8分
	都営地下鉄三田線 水道橋駅(出口A1)

順天堂大学第3教育棟

第44回 JAETP学術集会の見どころ



いよいよ9月に迫る学術集会では、各分野の第一線で活躍する専門家による注目のシンポジウムが多数企画されています。本誌では、シンポジウムの中から一部を抜粋してご紹介いたします。

▶ 社会的処方と運動

地域資源との連携や制度設計を含め、運動療法の社会的意義を再考する試みが取り上げられます。都市部・高齢者・医療現場それぞれの視点から、社会的処方のあり方が提案されます。

▶ ライフコースを考えた運動の在り方

若年期から高齢期までの身体活動の意義を、競技歴や発育発達段階、社会背景をふまえて多角的に考察します。五輪代表選手・トップアスリートの追跡調査など、貴重なデータも交えて議論されます。

▶ 高強度インターバルトレーニングとインターバル速歩と散歩

HIIT (High Intensity Interval Training) やインターバル速歩といった運動処方の新潮流に加え、宇宙医学の知見や乳がんサバイバーに向けた遠隔指導の実践例など、臨床応用に向けた多彩なアプローチが紹介されます。

▶ 生理学的モニタリングの新展開: 非侵襲的手法による運動時の脳血流のモニタリング

運動中の脳の状態を非侵襲的に可視化する最新の生理学的測定技術が紹介され、生理学的モニタリングを活用したリハビリテーションの介入戦略について議論が展開されます。

臨床・研究・地域資源との連携の最前線に触れることができ、様々な立場の皆様に新たな気づきが生まれる、貴重な機会です。多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(この情報は総務委員会ニュースレター編集部が作成しています)

シンポジウム

日程：9月13日（土）14:10～15:20 会場：第2会場 401

社会的処方と運動

座長：佐藤 真治（帝京大学 医療技術学部）

小熊 祐子（慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター・大学院 健康マネジメント研究科）

社会的処方のいろは

守本 陽一

公立八鹿病院 総合診療科



都市部の高齢者を支える社会的処方の試み

石塚 亮平

帝京大学大学院 公衆衛生学研究科



社会的処方と運動療法の接点



佐藤 真治

帝京大学 医療技術学部

糖尿病専門医・指導医・クリニック院長から見た社会的処方と運動療法における現状と課題

古川 康彦

経堂駅前内科・糖尿病クリニック



シンポジウム

日程：9月13日（土）9:30～10:50 会場：第1会場 301

ライフコースを考えた運動の在り方

座長：澤田 亨（早稲田大学 スポーツ科学学術院）
 中嶋 耕平（国立スポーツ科学センター スポーツ医学研究部門）

若年期の激しい運動習慣は高齢期の健康に悪影響を与えるのか？

蒲原 一之

国立スポーツ科学センター
スポーツ医学研究部門

中学・高校時代の運動部活動が高齢期の健康に与える影響

田端 宏樹

順天堂大学 健康総合科学先端研究機構
順天堂大学大学院 医学研究科
スポーツロジーセンター高齢期を迎えたエリートアスリートと
ロコモティブシンドローム
第15回東京オリンピック記念
体力測定結果報告

橋本 立子

東京都立多摩総合医療センター 整形外科

若年期の激しい運動習慣が高齢期の体力に及ぼす影響
－1964年東京五輪日本代表選手の追跡調査から－

青野 博

日本スポーツ協会
スポーツ科学研究室

ライフコースにわたる運動・身体活動のエビデンス

曾根 博仁

新潟大学大学院 医歯学総合研究科
血液・内分泌・代謝内科学分野
新潟大学 健康教育イノベーションセンター
新潟大学 ビッグデータアクティベーション
研究センター

このテーマに関心のある方におすすめ

教育講演II「運動疫学 最新の知見」 9/13(土)14:10-14:50
 第3会場 501 座長：中田 由夫(筑波大学 体育系)

「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」のエビデンス
 演者：澤田 亨(早稲田大学 スポーツ科学学術院)

シンポジウム

日程：9月14日（日）9:00～10:20 会場：第1会場 301

高強度インターバルトレーニングとインターバル歩行と散歩

座長：尾関 拓也（あいち健康の森健康科学総合センター）
 沖田 孝一（北翔大学大学院 生涯スポーツ学研究科）

臨床における高強度運動の用い方
－最近の動向－

乳がんサバイバーへのスマートフォンを用いた自重による在宅高強度インターバルトレーニングの紹介



伊藤 重範

医療法人 三九会 三九郎病院 循環器内科

街 勝憲

国立がん研究センター がん対策研究所

宇宙医学におけるHIIT研究で得た知見を一般労働者のCRF*向上策に

Sanpo is Medicine：
お散歩は脳に効く薬

松尾 知明

労働安全衛生総合研究所

佐藤 真治

帝京大学 医療技術学部

※CRF：Cardiorespiratory fitness（心肺持久力）

シンポジウム

日程：9月14日（日）13:50～15:20 会場：第2会場 401

生理学的モニタリングの新展開：非侵襲的手法による運動時の脳血流のモニタリング

座長：岩田 健太郎（神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション技術部）
 椿 淳裕（新潟医療福祉大学 運動機能医科学研究所）

安静時・運動時の脳循環モニタリングを活用したリハビリテーション介入の最適化戦略



椿 淳裕
新潟医療福祉大学 運動機能医科学研究所

重症患者における初回離床時の局所脳酸素飽和度と予後との関連



今井 遼太
魚沼基幹病院
リハビリテーション技術科

急性期脳梗塞患者の離床時における脳血流モニタリング"客観的評価による脳保護とリハビリテーション戦略"



前川 侑宏
神戸市立医療センター中央市民病院
リハビリテーション技術部

脳卒中後の地域生活の再建に向けた前頭前野の血流動態と二重課題歩行の意義



高橋 朋弥
神戸市立医療センター中央市民病院
リハビリテーション技術部
新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科

心血管手術後患者における心肺運動負荷試験中の前頭前野酸素化変化



鷲澤 玲央
よしだ循環器内科クリニック

間質性肺疾患患者の6分間歩行試験中の脳酸素化動態について



平井 智樹
信州大学医学部附属病院
リハビリテーション部

透析中の運動療法がもたらす脳への効果



小島 将
嬉泉病院
リハビリテーション科

このテーマに関心のある方におすすめ

教育講演I 「非侵襲的なMRI技術を用いた脳機能と運動」

9/13(土) 9:30～10:10 第3会場 501

座長：有田 幹雄(角谷リハビリテーション病院)

非侵襲的なMRI技術を用いた脳構造と機能の評価：運動との関連

演者：鎌形 康司(順天堂大学大学院医学研究科 放射線診断学)

本誌未掲載の注目企画がまだまだ多数！



本誌では紹介しきれなかった教育講演や椅子ヨガ実技、セミナー、ジョイントセッション、シンポジウム、若手研究者による発表など現場に役立つ知見が得られる企画が多数予定されています。

最新のプログラム内容や演者情報は、

[学術集会公式ホームページ](#)およびSNSにて随時更新中です。

事前の参加計画に、ぜひご活用ください。

facebook
フェイスブック



Instagram
インスタグラム



X
エックス



単位取得可能な資格

学術集会では以下の単位取得が可能です（一部調整中）。

健康運動指導士
健康運動実践指導者
心臓リハビリテーション指導士
日本医師会認定健康スポーツ医
東京糖尿病療養指導士
東京糖尿病療養支援士

詳細は[こちら](#)

